



伊豆の国市大仁中学校
学校だより 1月号
令和2年1月30日発行

咲き誇る

学校教育目標 『夢を拓く』～学ぶ喜びを分かち合う生徒～

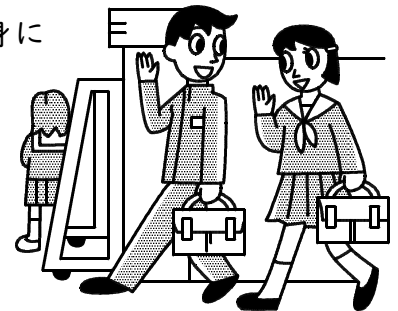
1月も終わりにになりましたが、本年もよろしくお祈いします。学校では、3年生は目前に迫った高校入試に向けて、最後の追い込みをしています。21日・22日には、入試の際の面接練習を本番さながらに行いました。また、1・2年生は、2月2日（日）に行われる市駅伝大会に向けて朝から練習に励んでいます。

1月28日（火）に行った令和2年度の新入生説明会において、保護者向けに話したことを紹介したいと思います。（実際には、子どもたちにも話をしたため、要約して話しました。）

「子育て」の最終目標

保護者の皆さん、思った以上に中学校3年間は早いです。中学校というのは、一言で言えば「大人になるための準備期間」です。自分一人で歩いていける力をつける場所、即ち自立する場所が中学校だと思ひます。「子育て」の目指すところは、「**自立**」です。もちろん小学校でも同じですが、自我の目覚めてくる中学校ではずいぶん違ひます。おそらく小学校の時は、保護者の皆さんは、あれこれ手を出していたのではないのでしょうか。手を離して、子どもに任せるということが少なかったと思ひます。中学では、できる限り、手を離し、子どもに任せてください。ただし、目や心は離さないでください。失敗してもいいと思ひます。できる限り子どもに任せ、子どもにやり切らせてください。そのことが子どもの成長、「**自立**」には大切なことです。たとえば、子どもの目の前に石があったとき、その石を取り除き、転ばないようにする親がいます、これは、小学校までです。石につまづいて転んだら、自分で転ばない方法を考えます。これが「**自立**」です。

「**自立**」する段階で、子どもはもう一つ大切なことを身につけていきます。それは本当の自分を見つけようとすることです。それまでは、親の言う通りにしていた子どもも、自分で考え、判断して行動するようになります。親とは違った価値観を持つようになります。親と意見を闘わせながら本当の自分づくりをしていきます。いわゆる反抗期の訪れです。この時、親が迷ったりたじろいたりしてはいけません。ましてや親の価値観を押しつけても



いけません。子どもと真正面から向き合い、話を聞きながら、子どもが進んでゆく道を後ろから押してやるのが大切です。思春期は子どもが親から離れていく時です。親にとってはつらい時期です。中学校時代は、まさにそのど真ん中です。

「子育て」の最終目標は、子どもの「**自立**」です。私たち教員も保護者の皆さんも目指す方向は一緒です。違ひるのは場所だけです。4月から始まる中学校生活、ぜひ、子どもの未来のためにともに手を取り合ひていきましょう。

文責 校長 矢田真則

イズノクニザクラ満開近し

テニスコート裏の山の斜面に、イズノクニザクラの原木があります。薄寒桜を改良して作られた新種で、伊豆の国市誕生を記念して命名されたそうです。開花の時期は、河津桜より早く、現在5分咲きといったところです。イズノクニザクラは、狩野川堤にある桜公園の駐車場山側にも植えられています。

(1月16日の日々新聞で紹介されていました。)



起震車体験



生徒感想

- ・幼稚園以来の体験で少し怖かったけど、本当の地震が来たときに備えたいです。
- ・震度6弱であんなに揺れるんだと思いました。日頃から、地震が来たときのことを考えることが大切だと思いました。
- ・小学校の時に1回やったことがあるけど、もう忘れてしまったので、本当に地震が起こったときでも自分の身を守り気をつけていきたいです。

駅伝大会に向けて

2月2日(日)に伊豆の国市駅伝大会が行われます。大会に向けて、毎朝練習に励んできました。大仁中からは、男女それぞれ2チームずつ参加します。応援よろしくお願いたします。



2月の行事予定

- 2日(日) 伊豆の国市駅伝大会
(スタートゴール：葦山時代劇場)
- 4日(火)・5日(水) 私立高校入試・給食なし
- 4日(火) 1年生反射炉検定
- 10日(月) 学年専門委員会
- 13日(木) 私立高校合格発表
- 14日(金) 学年末テスト(技能)
- 17日(月) 11:30 下校
- 18日(火) 学年集会
- 21日(金) 学年末テスト(5教科)
- 25日(火) 生徒集会
- 28日(金) ※P新旧役員会・新旧評議員会

栄誉を讃える

吹奏楽部 アンサンブルコンテスト東部地区大会金賞 木管8重奏(県大会出場) 金管5重奏
アンサンブルコンテスト県大会銀賞 木管8重奏

大仁中ホームページのご案内

週に1回、学校のホームページを更新しています。各種お便りや生徒の様子を配信しています。右のQRコードを読み込むと、携帯電話からでも簡単に見ることができます。



「体罰の調査」について

学校ではいかなる場合においても、肉体的苦痛を与える懲戒である体罰を行ってはならず、これに該当するような行き過ぎた指導がないよう戒めながら日々教育活動に邁進しているところです。つきましては、学校では気づかぬ体罰等がなかったか調査を実施いたします。本年度4月以降、万が一懸念されるような指導がありましたら、校長または教頭まで電話連絡か、文書にて報告していただきたいと思ひます。報告は2月28日(金)までをお願いします。なお、それ以降も随時、ご連絡ください。